

令和元年度第1回上尾・伊奈広域ごみ処理施設建設候補地評価基準検討会議
議事録

日時：令和元年10月28日（月） 10時から11時まで
場所：上尾公民館講座室402

1 開会

2 委嘱書交付

3 伊奈町長あいさつ

4 会長、副会長選任

事務局 事務局といたしましては、会長を全国都市清掃会議 技術指導部長 荒井喜久雄様に、副会長を埼玉県環境科学国際センター 主任研究員 川寄 幹生様をお願いしたいと考えている。

全 員 異議なし。

事務局 それでは、会長を荒井喜久雄様に、副会長を川寄幹生様をお願いしたい。

5 議題

(1) 会議の目的について

委 員 住民に対して意見募集を行ったとのことだが、何件くらいの意見をいただき、どのような内容だったか。

事務局 両市町で住民からいただいた意見はなかった。

(2) 会議の公開について

議 長 事務局案としては、会議は原則公開し、非公開の内容については会長が委員に諮る、また、会議録及び会議資料も原則公開とし、今回の会議録及び会議資料についても公開する、とのことだが、委員の意見はあるか。

全 員 異議なし。

議 長 それでは、事務局案の通りに進めることとする。

(3) 評価基準について

委 員 大項目が6つある中で、日本の現状を考慮すると、個人的には防災と生活環境について重点を置くべきではないかと考えている。

事務局 頂いたご意見を取りまとめた上で、まずは第2回の検討会議で議論を深めていきたいと考えている。

委 員 公募に挙がった2地点から優先的に候補地を決めていくのか。

- 事務局 公募の2地点のほか、並行して上尾市及び伊奈町から候補地として適当である地域を抽出しており、本検討会議で検討いただく評価基準に照らし合わせて最終的な候補地を検討する。応募いただいた2地点については一定の合意形成がなされていると考えられるが、評価手法については今後検討することとなる。
- 委員 我々は市民・町民の立場としての意見も本検討会議で出してよいのか。
- 事務局 本検討会議では、評価基準について検討を進めるため、そのようなご意見も踏まえて今後議論していきたい。
- 議長 重要度が高い項目については配点高く評価するというのでよいか。
- 事務局 そのように考えている。
- 事務局 説明の補足をさせていただきたい。事務局では、参考資料2にある候補地の評価手法について、公募のあった2地点及び事務局が抽出した候補地を公平かつ分かり易く評価するため、一斉評価で評価したいと考えている。その上、今後具体的な項目等については本検討会議で検討していきたい。
- 委員 資料6の1ページ目について、伊奈町から公募があったということは私も聞いている。市町の推薦はあったのか。また、地図上抽出等は既に作業を終了しているのか。終了しているのならば、上尾市及び伊奈町でそれぞれ何地点ずつあるのか。
- 事務局 市町村推薦は実施していない。地図上抽出については、現在作業を進めており、40地点程度を見込んでいるが精査中である。
- 委員 交通渋滞については、現道を使うと渋滞が発生するが、新設道路があれば回避できるという考え方がありうる。一方、道路を新設すれば、インフラの整備費に跳ね返ってくる。その辺りはどこまで考えておくべきか。
- 事務局 交通渋滞については、現在、既存の道路に基づいて検討することを考えている。インフラ整備については、道路を新設すれば費用もかかるという認識はある。また、ごみ処理施設は一般的に迷惑施設という観点から、住居や公共施設等から距離をとった方がいいという考え方と、エネルギー施設という観点から、住居や公共施設等の近くに存在したほうがいいという考え方もある。このように、相反する項目が現状でも既に存在し、今後検討が必要な状態であるため、その重み付けなどの手法についても本検討会議で議論していきたい。
- 委員 本県内でも「負の遺産」というのがある。例えば、畑や空き地の下にごみが存在しているという場所がある。ただ単に、「用地が結構あるから」、「工事価格が安いから」、などということではなく、例えば昔の写真等も確認し、候補地の経歴もできる限り調査していただきたい。
- 事務局 ご意見を踏まえ、検討する。

6 その他

7 閉会